課題番号38

良質粗飼料の確保

～スーダングラス不耕起栽培による良質粗飼料の確保～

対象：良質粗飼料確保志向農家１戸（月形町）

１　活動の背景

①気候の温暖化に対応した安定的な飼料作物生産が求められている。
②粗飼料不足の解消に向け、収量性の高い飼料作物の導入と栽培方法を検討する必要がある。

不耕起栽培による暖地型作物の導入！

牧草の夏枯れ

暖地型牧草の収量性

２　活動の経過

暖地型作物の不耕起栽培は府県では取り組まれていますが、北海道では実践事例が少なく栽培技術もわからないところがあります。今回は種子を販売するＡ社の推奨する方法で取り組んでみましょう！

主な活動内容
（１）対象農場の実践支援（酸度矯正、は種機の設定、施肥量・時期、雑草防除）
（２）実証ほの設置と技術導入効果の確認
（３）対象農場の取り組み状況の情報発信
（４）導入技術の検証
（５）家畜飼料としての評価

は種機の設定支援

実証ほの設置と調査

出芽状況の確認

３　成果の具体的内容

暖地型作物の不耕起栽培による良質粗飼料の確保
（目標：実践農家数０戸→１戸　実績：実践農家戸数０戸→１戸　達成率100%）

（１）不耕起栽培の実践

対象農場と実践方法の打ち合わせ

スーダングラスの生育は良くなかったよ。
何が問題だったのかな？

スーダングラスは疎ら。
草丈も90cm程度？

対象農場のほ場

降雨不足が大きな原因だと考えられます。他にも問題はありそうですね。

（２）暖地型作物の導入効果

表1 スーダングラス生産費用の試算（参考）

区　　分	生収量（kg/10a）	乾物収量（DMkg/10a）	乾物1kg当費用※1（乾草1kg当たり価格）円
実証区	493	65	228
輸入乾草※2	―	―	53

※1 費用には固定経費を含まない。※2 財務省「貿易統計」R6.9現在。

実証はできなかったけど期待どおりの収量が獲れたらメリットはありそうだ！

（３）栽培農家の増加

表2 暖地型作物栽培農家

町村	農場名	栽培牧草
A市	D農場	スーダングラス
B市	F農場	スーダングラス
C町	G農場	パールミレット
	H農場	パールミレット
	K農場	パールミレット

パールミレットを播いたんだけど収量は４t/10aあったよ。粗飼料の確保対策として有効かもしれないね！

G農場のほ場

（４）導入技術の課題整理

取り組んだ皆さんの感想を整理すると・・

・降雨不足に備え、は種深度や覆土鎮圧も検討したほうが良さそうだ。
・不耕起栽培の基本技術励行が必須。（酸度矯正、雑草対策etc）
・生育特性など不明。もう少し情報を整理する必要があるね。

（５）家畜飼料としての評価

表3 硝酸態窒素濃度

草　種	硝酸態N(p.p.m)
スーダングラス	68
オーチャードグラス	98

※ほ場にて採取。基準は2,000p.p.m以下

嗜好性は普段の牧草に比べ遜色ないね！

スーダングラスの給与

４　今後の課題と対応

・実践農場への支援継続と普及技術の確立